

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公開番号】特開2012-56975(P2012-56975A)
 【公開日】平成24年3月22日(2012.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報2012-012
 【出願番号】特願2010-198267(P2010-198267)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

H 0 1 L 31/042 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 175/04

B 3 2 B 27/40

H 0 1 L 31/04 R

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月16日(2013.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

積層シート用接着剤組成物から形成された接着剤層と、前記接着剤層を介して積層された2つ以上のシート状部材とを具備した太陽電池用裏面保護シートであって、

前記積層シート用接着剤組成物が、ポリカーボネートウレタンポリオール(A)を含む主剤と、ポリイソシアネート(B)を含む硬化剤とを用いるものであり、

前記ポリオール(A)の水酸基に対して、前記ポリイソシアネート(B)の全イソシアネート基が、当量比で0.5~10であり、

前記ポリカーボネートウレタンポリオール(A)の、数平均分子量が5,000~25,000、ガラス転移温度が-50~10、分子中に含有するOH末端官能基数が2.1~5である、

ことを特徴とする太陽電池用裏面保護シート。

【請求項2】

前記ポリオール(A)が、ポリカーボネートジオール(A-1)と、ジイソシアネート(A-2)と、3つ以上の水酸基を有する多官能性ポリオール、若しくは3つ以上のイソシアネート基を有する多官能ポリイソシアネート(A-3)との反応により得られるポリカーボネートウレタンポリオールであることを特徴とする、請求項1記載の太陽電池用裏面保護シート。

【請求項3】

ポリカーボネートウレタンポリオール(A)を含む主剤と、ポリイソシアネート(B)を含む硬化剤とを用いる積層シート用接着剤組成物であり、

前記ポリオール(A)の水酸基に対して、前記ポリイソシアネート(B)の全イソシアネート基が、当量比で0.5~10であり、

前記ポリカーボネートウレタンポリオール(A)の、数平均分子量が5,000~25,000、ガラス転移温度が-50~10、分子中に含有するOH末端官能基数が2.1~5である、

ことを特徴とする積層シート用接着剤組成物。

【請求項 4】

太陽電池の受光面側に位置する太陽電池表面保護材（I）、太陽電池（III）、太陽電池の非受光面側に位置するエチレン - ビニルアセテート共重合体系充填剤層（IV）、及び前記非受光面側エチレン - ビニルアセテート共重合体系充填剤層に接してなる前記太陽電池裏面封止シート（V）を具備してなる太陽電池モジュールであって、

前記太陽電池裏面封止シート（V）が、請求項 1 又は 2 記載の太陽電池用裏面保護シート（V'）を用いてなることを特徴とする、太陽電池モジュール。

【請求項 5】

太陽電池表面保護材（I）と、太陽電池（III）との間に、受光面側エチレン - ビニルアセテート共重合体系充填剤層（II）をさらに具備することを特徴とする、請求項 4 記載の太陽電池モジュール。